様式第6号(第18条関係)

令和5年度 宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和6年 5月29日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市清武町今泉甲2694番地3
名 称	清武地域まちづくり協議会
代表者の氏名	会 長 中山 和郎
電 話 番 号	0985 - 84 - 5200

令和5年6月7日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告・収支決算(見込)書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (ニ) 備品管理台帳の写し
- (ホ) 地域協議会の意見書[事業実施報告]

令和5年度 事業実施報告・収支決算（見込）書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

1 総括

5月から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になり、当初計画していた11事業を実施することができた。今年度は、2年に一度の開催である「清武町域三神社神楽舞」事業を清武・加納地域まちづくり協議会合同主催で実施した。また、清武地区生涯学習推進協議会との共同開催による「清武地区ふれあい文化祭」では、屋外でのステージ発表、福祉講演会等を行い、次年度につながる催しとなった。しかし、駐車場の問題や運営の改善の余地が見られた。その他中学生がボランティアとして多くの参加があった。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	差	備 考
基礎交付金	2,781,206	2,781,206	0	
繰越金	1,384,042	1,384,042	0	
自己資金	100	19	▲ 81	銀行利息 (8月10円・2月9円)
協賛金	0	0	0	
負担金	90,000	103,300	13,300	みかん狩り参加費 (78,300円) 音響設備 清武地区交流 センターと折半(25,000 円)
補助金	0	0	0	
解約払戻金	0	0	0	
雑収入	0	17,582	17,582	飲み物売上として
合 計	4,255,348	4,286,149	30,801	

(2) 支出の部

(単位：円)

分野	事 業 名	実施年数	予 算	決 算	差	備 考
防	防犯・防災推進事業	13年目	630,000	513,252	▲ 116,748	
環	環境美化事業	11年目	500,000	327,631	▲ 172,369	
環	「星を見る会」事業	10年目	70,000	34,206	▲ 35,794	
健	「清武地区のんびり歩こう会」開催事業	13年目	141,000	117,322	▲ 23,678	
健	「健康・福祉講演会」開催事業	12年目	55,000	6,000	▲ 49,000	
伝	「清武かるた」普及事業	12年目	67,000	51,190	▲ 15,810	
他	「清武町域三神社神楽舞」事業	10年目	215,000	140,014	▲ 74,986	
他	「十九の丘」みかん育成体験事業	12年目	189,000	188,786	▲ 214	
他	清武地域まちづくり協議会だより発行事業	14年目	207,000	181,627	▲ 25,373	
他	まちづくり協議会管理運営事業	14年目	1,480,348	1,058,152	▲ 422,196	
他	银杏フェスティバル事業	3年目	701,000	609,341	▲ 91,659	
小計				3,227,521		
繰越金				1,058,628		
合 計			4,255,348	4,286,149	30,801	

3 各事業実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防犯・防災推進事業 (地域安全活性化部会)	実施年数	13年目																		
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし																			
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・安全安心なまちづくり ・地域住民・世代間交流の場づくり																				
目的 (期待される効果)	交通安全や青少年の健全育成、防災に関する住民意識の向上に努めるなど、安全・安心な地域をつくることを目的とする。																				
事業内容・手段	<p>(1) 安全安心パトロール等の実施 【時期】 通年 【場所】 清武中学校区（黒北の一部を含む） 【内容】 ・安全安心パトロール車で、音声テープを流しながら地域内を巡回した。 ・週4回（月・水・金・土）15時～17時に実施した。 ・夜間巡回（水曜日／月1回）19時～20時に実施した。 ・宮崎南地区少年補導員連絡会が（第1土曜日）17時～18時に活用した。 ・「愛の一声・あいさつ運動」年4回（4月・6月・9月・1月）に協力した。 ・地域安全運動に併せて、（4月・10月・12月）クロスモール清武で街頭キャンペーンを実施し、チラシや防犯グッズを配布して啓発した。同時に隊員募集のチラシも配布し、呼びかけを行った。 ・交流センター利用登録団体の地域貢献活動として、青パト乗車体験や街頭キャンペーンに参加していただいた。 ・7月15日（土）きよたけ郷土祭りに青パト隊が行列に参加した。 ・青パト隊員新規資格取得者及び更新対象者向け講習会を6月30日（金）・1月30日（火）に実施した。 ・11月3日（金）清武地区ふれあい文化祭で、青パト隊員募集を行った。 ・11月28日（火）年末年始発隊式に参加した。 ・12月20日（水）宮崎県安全で安心なまちづくり活動知事奨励賞を受賞した。</p> <p>(2) 災害図上訓練（DIG）の実施 【時期】 令和5年7月27日（木） 【場所】 清武地区交流センター 学習室 【内容】 ・自治会、消防署、地元消防団等の協力で実施した。 ・清武中央地区（上今泉・下今泉・石坂・松叶・永山）5地区の参加。 ・地区内の危険箇所、避難所、AED設置場所等の確認、チェック（地区内の地図に質問事項に沿って記入した。グループ討議後に発表した。） ・作成した図面は、各自治会の要望に応じて対応した。</p> <p>(3) かまどベンチの活用 【内容】 ・清武地区ふれあい文化祭開催にあわせて、日赤の方の協力を得て、かまどベンチの火入れを行い、ぜんざいのふるまいを行った。</p>																				
事業費	513,252円																				
対象者	清武地域住民																				
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隊員</td> <td>328人</td> <td>402人</td> </tr> <tr> <td>準隊員</td> <td>23人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>一般参加</td> <td>40人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>408人</td> <td>539人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	隊員	328人	402人	準隊員	23人	28人	一般参加	40人	27人	スタッフ	17人	82人	合計	408人	539人
年度	令和5年度	令和4年度																			
隊員	328人	402人																			
準隊員	23人	28人																			
一般参加	40人	27人																			
スタッフ	17人	82人																			
合計	408人	539人																			
住民の声（アンケートの結果等）	<p>・特にアンケートは行っていないが、地域の方から青パト巡回が子どもの見守りや犯罪等の抑止につながっており、安全で安心なまちづくりになっているという話を聞いた。 (災害図上訓練（DIG）のアンケート) ・自分の住んでいる地域を再検討する機会となった。 ・地域のつながりが重要と感じた。もっとたくさんの参加があると思った。 ・具体的な災害想定であり、イメージトレーニング及び災害意識の向上になった。つぎは、災害毎の対策要領を学びたい。</p>																				

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域住民の防犯、防災の関心は高く、安全安心パトロールやDIGなどの取組にも協力的である。	広報	⑤事業の周知	B	B	広報紙に活動報告など掲載して周知を図るが、広報紙をみない人もいるため、より積極的に広報に努めたい。
	②住民の参加	B	B	地域住民の青パト隊への参加は少ないが、少しずつ増えてきている。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の見守り活動が地域住民の安全安心につながっており、まちづくり協議会の取組として妥当である。	⑦住民の満足度	⑦住民の満足度			B
	④各種団体との連携	A	A	南署、交番、地域安全協会等と連携し、街頭キャンペーンで啓発活動を実施した。自治会、地元消防団、日本赤十字と連携した。			事業継続の必要性		④・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・清武地区ふれあい文化祭で、かまどベンチを紹介することができた。 ・青パト隊員として資格取得し取り組もうとする方が少しずつではあるが増えてきている。更に、広報に努めていきたい。 							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>			対応	未・済			
		<意見への対応>							
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>			対応	未・済			
		<意見への対応>							

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	防犯・防災推進事業	(地域安全活性化部会)
-----	-----------	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	213,252	
2	繰越金	300,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	513,252	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	備考
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	148,562	消耗品費(カラーPPC用紙他) 21,629 円 燃料費(ガソリン・プリカ代金) 98,570 円 食糧費(お茶代他) 28,363 円
5	役務費	103,330	通信運搬費(切手) 12,600 円 任意保険料(自動車任意保険) 90,180 円 振込手数料 550 円
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	261,360	車両リース料(@19,800×12ヶ月×1.10) 261,360 円
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	公課費	0	
13	合計(B)	513,252	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

[2] 環境に係る事業

事業名	環境美化事業 (環境福祉部会)	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	1. はないっばい～心が豊かになるきれいなまちへ～ 3. えがおいっばい～人と人があふれる笑顔があふれるまちへ～ ・花と緑があふれる美しい景観づくり ・環境美化意識の啓発 ・地域住民・世代間の交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	地域住民と協働して、地域の活性化や花いっばいのまちづくりを推進することを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 環境美化活動の実施 【時期】 令和5年8月～令和5年12月 【場所】 清武町木原地区永田 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・6月7日(水) 宮崎県地域環境保全功労者等(団体の部)を受賞した。 ・8月20日(日)、9月9日(土) ひまわり畑周辺の草刈り(種まき準備のため)を実施した。 ・9月9日(土)、一部9月16日(土) ひまわりの種まきを実施した。 ・10月21日(土) ひまわり畑周辺の草刈り(見ごろ前)を実施し、一部11月8日(水) ひまわり畑草刈りを実施した。 ・10月25日(水) 宮崎市花のまちづくりコンクール優良賞(団体活動部門)を受賞した。 														
事業費	327,631円														
対象者	清武地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年 度</th> <th style="width: 40%;">令和5年度</th> <th style="width: 40%;">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>12人</td> <td>一人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>71人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>83人</td> <td>82人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ (花を見に来られた来場者の人数は、把握していない)</p>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	12人	一人	スタッフ	71人	82人	合 計	83人	82人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	12人	一人													
スタッフ	71人	82人													
合 計	83人	82人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・特にアンケートは行っていないが、来場者との会話の中で、「毎年見に来ているけれども、特に今年のはきれいです」と多くの方が話をされていた。 ・「今年もひまわり植えられましたか」「いつごろから咲きますか」との問い合わせも多くあり、皆さんが楽しみにしておられることがよくわかった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	アンケートは行っていないが、来場者から「毎年楽しみにしています」との声が多く聞かれるなどニーズがある。	広報	⑤事業の周知	A	A	毎年地元のTV、新聞等に取り上げていただいている。記事や放映後は、見学者が急増した。	
	②住民の参加	A	A	11年目になり「ひまわり」と言えば「清武」と定着し、地域や個人宅の庭先にも植える人も増えてきた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	種まきが遅れ、開花時期も大幅に遅れて来場者の心配もあったがTV放映の影響は大きかった。休日一日のみではあるが警備員を配置し駐車場の混乱しなかった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	魅力発信プランの「花と緑があふれる美しい景観づくり」に合った事業であり、まちづくり協議会の取組として妥当である。			⑦住民の満足度	A	A	毎年楽しみに来られており、リピーターも多く満足度は高い。
	④各種団体との連携	A	A	今年も交流センター利用者の参加をいただいた。今後も更に連携を深めていきたい	事業継続の必要性		④有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年より交流センター利用者の方が、地域貢献活動として楽しみに参加をいただいている。 ・種まきの時期に雨が続いたため、通常より2週間近く遅れて種まきをした。屋外事業は天候に左右されることが多いので、日程調整が難しい。 								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
		<意見への対応>						対応		未・済
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
		<意見への対応>						対応		未・済

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	環境美化事業	(環境福祉部会)
-----	--------	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	127,631	
2	繰越金	200,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	327,631	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金	0	
2	報償費	0	
3	旅費	0	
4	需用費	251,031	消耗品費 (ひまわりの種・ビニール袋他) 236,026 円 食糧費(お茶代他) 13,125 円 燃料費 (混合油代) 1,880 円
5	役務費	0	
6	委託料	17,600	駐車場 警備費(16,000円×1人×1日×1.10) 17,600 円
7	使用料及び賃借料	59,000	耕うん機・草刈り機使用料 59,000 円
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	公課費	0	
13	合計(B)	327,631	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

3 実施報告

事業名	「星を見る会」事業 (環境福祉部会)		実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成26年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地域住民・世代間の交流の場づくり ・住民同士で語り合う場づくり															
目的 (期待される効果)	清武の豊かな自然や、雄大な空を体感し、子供と保護者や、地域住民同士がふれあうことを目的とする。															
事業内容・手段	<p>(1) 「星を見る会」の実施</p> <p>【時期】 令和5年9月9日(土)</p> <p>【場所】 宮崎市立大久保小学校 校庭</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みやざき星の会から星座のお話や観測する上での注意事項の話をしてもらった。 ・みやざき星の会の指導により、天体望遠鏡等で星空観測を実施した。 ・夏の夜空の星座(土星・木星・火星、月等)を観測した。 															
事業費	34,206円															
対象者	清武地域住民															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>88人</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>24人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>112人</td> <td>86人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>				年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	88人	69人	スタッフ	24人	17人	合計	112人	86人
年度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	88人	69人														
スタッフ	24人	17人														
合計	112人	86人														
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加してよかった(88%) ・今後もできるなら参加したい(93%) ・いつ頃がいいですか(9月・35%) (その他の意見) ・うまれて初めて土星の本物を見て感激しました。 ・いろんな星をみれてきれいだった! ・図かんでみたようなきれいな星を見ることができて嬉しかったです。 ・どせいが絵みたいだった。 ・何の星を見ているのか、ボードなどに書いてもらおうと見たい列に並べるからいい。 ・説明をいろいろしてもらってとても楽しかった。 ・天気をもっと良かったら、もっときれいに見えたと思う。次回も楽しみ。 															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	前回は冬に実施したが、今回は、夏の星座観測を開催した。	広報	⑤事業の周知	A	A	地域内の小学校、中学校にチラシを配布している。保育園、幼稚園にもチラシを置かせてもらっている。
	②住民の参加	A	A	星座観測に関心があり、親子連れの参加が多かった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	魅力発信プランの「地域住民・世代間の交流の場づくり」に合った事業であり、まちづくり協議会の取組として妥当である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	自治会、学校、みやざき星の会会員と連携した。		事業継続の必要性		有・ 無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右され判断が難しかったが、夏の夜空の観測会を実施できた。 ・雲のない晴天時でのみ実施できる事業のため実施の有無や対応等、まちづくり協議会の負担が大きいため、次年度は事業を廃止する。 							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								
	<意見への対応>						対応		未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								
	<意見への対応>						対応		未・済

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	「星を見る会」事業	(環境福祉部会)
-----	-----------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	34,206	
2	繰越金		
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	34,206	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金	0	
2	報償費	20,000	謝礼(講師) 20,000 円
3	旅費	0	
4	需用費	10,426	消耗品費(カラー用紙代他) 6,435 円 食糧費(お茶代他) 3,991 円
5	役務費	3,780	レクリエーション保険料(90人延べ人数) 3,780 円
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	公課費	0	
13	合計(B)	34,206	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

[3] 健康づくりに係る事業

事業名	「清武地区のんびり歩こう会」開催事業（文化健康部会）	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	2. はらいっばい～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっばい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地域住民・世代間の交流の場づくり ・住民同士で語り合う場づくり ・健康増進														
目的 (期待される効果)	住民の体力づくりと健康増進を推進し、地域住民の交流や健康づくりに対する意識を高めることを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 「清武地区のんびり歩こう会」の開催 【時期】 令和5年12月2日(土) 【場所】 清武総合運動公園周辺 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・清武総合運動公園～今泉神社～清武総合運動公園（4km）、清武総合運動公園内（2km）の2コースを設定した。 ・丸目研修センターをトイレ休憩所として利用した。 ・開会、閉会行事を日向夏ドームを利用した。 														
事業費	117,322円														
対象者	清武地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>93人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>62人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>155人</td> <td>80人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	93人	29人	スタッフ	62人	51人	合計	155人	80人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	93人	29人													
スタッフ	62人	51人													
合計	155人	80人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区回覧版で知った(55%) ・コースが良かった(82%) ・健康づくりのため参加した(60%) ・できるなら参加したい(94%) ・たいへん楽しく過ごせた(90%) (その他の意見) <ul style="list-style-type: none"> ・参加者とお話をしながら、有意義な時間を過ごすことができた。 ・90才になりましたが楽しく歩きました。 ・いい運動になりました。 ・毎年参加しています。皆さんとの交流が楽しいです。 ・中学生、地域の方の交流ができてよかったです。 ・ゴミ袋いっぱい拾いました。 ・ゴミ袋を配布して、道路のごみを拾いながら実施したらどうか？ 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項		
		本年度	前年度				本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	健康づくりや自然体験、気分転換になる等の意見があり、開催を楽しみに待っている人が多い。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会や清武町域の小中学校、近隣の公共施設等にチラシを配布、設置して周知した。また、広報紙にも情報を掲載した。		
	②住民の参加	A	A	子どもから高齢者まで様々な年代の参加者があった。また、中学生ボランティア募集の呼びかけを通して多くの中学生が参加した。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	短いコースにも多数の参加者があり、体力に応じた健康づくり、体力づくりに寄与している。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	魅力発信プランの「地域住民・世代間交流の場づくり」の取組に合った事業であり、妥当である。		⑦住民の満足度			A	A	地域のことを知るきっかけになり、おしゃべりをしながら楽しく参加できたとの声を聞くことができた。
	④各種団体との連携	A	A	宮崎市さんさんクラブ清武地区連合会と共催、清武中学生のボランティアの参加、行政によるウォーキングコースの草刈りをお願いした。			事業継続の必要性		④有 ・ 無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 kmのコースに丸目研修センターを休憩所として利用したが通行量が多く、より安全で楽しめるコース設定を再度検討する必要がある。 ・ 天候に左右されず開催できるよう、日向夏ドーム（屋内球技場）を借りて実施した。 									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未 ・ 済	
		<意見への対応>									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未 ・ 済	
		<意見への対応>									

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	「清武地区のんびり歩こう会」開催事業	(文化健康部会)
-----	--------------------	----------

(1)収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	67,322	
2	繰越金	50,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	117,322	

(2)支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金	0	
2	報償費	3,000	救護看護師 3,000円
3	旅費	0	
4	需用費	96,432	消耗品費(参加賞パンジー・ケント紙他) 35,736円 食糧費(お茶・弁当代他) 48,914円 印刷製本費(チラシ代) 10,060円 医薬材料費 1,722円
5	役務費	7,440	レクリエーション保険料(120人延べ人数) 5,040円 道路使用許可用印紙代 2,400円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	10,450	屋内球戯場使用料・軽トラ使用料他) 10,450円
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	公課費	0	
13	合計(B)	117,322	

収支差引(A)－(B)	0
-------------	---

事業名	「健康・福祉講演会」開催事業 (環境福祉部会)		実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成24年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	2. はらいっぱい～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・世代間の交流の場づくり ・健康増進 ・スポーツ交流 															
目的 (期待される効果)	健康の維持・増進及び福祉への意識を高めることを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 健康づくりに関する講演会の実施 【時期】 令和5年11月3日(金・祝日) 【場所】 清武地域交流センター 清武地区ふれあい文化祭会場 【内容】 ・無理のない健康づくり「座ったままでも出来るヨガ」で体の緊張をほぐし、良質な睡眠確保や介護予防につながるヨガを実施した。															
事業費	6,000円															
対象者	清武地域住民															
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年 度</th> <th style="width: 40%;">令和5年度</th> <th style="width: 40%;">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>100人以上</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>25人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>125人以上</td> <td>43人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	100人以上	28人	スタッフ	25人	15人	合 計	125人以上	43人
年 度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	100人以上	28人														
スタッフ	25人	15人														
合 計	125人以上	43人														
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・特にアンケートは行っていないが、地区でも取り入れたいとの意見や外での体験で気持ち良かったという声がたくさん聞かれた。 															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	健康づくりに関する意識は高く、参加する機会を待っているとの声があり、ニーズがある。	広報	⑤事業の周知	A	B	文化祭のチラシに掲載し、自治会回覧、近隣の公共施設や銀行などに設置した。公式LINEアカウントで情報を流した。
	②住民の参加	A	B	清武地区交流センターと共催「清武地区ふれあい文化祭」の屋外ステージでの開催に多くの参加があった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	魅力発信プランの「健康増進、地域住民・世代間交流の場づくり」という取組に合った事業であり、妥当である。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	B	清武地区交流センター、近隣の自治会や福祉施設と連携をした。			事業継続の必要性		⑦ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場で行われるヨガを説明図を印刷して準備したのでわかりやすかった。 ・屋外ステージで行ったことで、参加しやすかった。 ・屋外での開催は、熱中症対策も考慮すべく課題が残った。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>				対応		未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>				対応		未・済	

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	「健康・福祉講演会」開催事業	(環境福祉部会)
-----	----------------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	6,000	
2	繰越金		
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	6,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金	0	
2	報償費	6,000	講師謝礼 6,000 円
3	旅費	0	
4	需用費	0	
5	役務費	0	
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	0	
8	工事請負費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	公課費	0	
13	合計(B)	6,000	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

[4] 伝統文化に係る事業

事業名	「清武かるた」普及事業 (文化健康部会)		実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成24年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・伝統文化の継承 ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	清武町の伝統・文化・名所旧跡などを知り、人との交流等を通して郷土愛を育み、地域を活性化することを目的とする。															
事業内容・手段	<p>(1) 「清武かるた遊び」の支援 【時期】 6月25日(日) 【場所】 清武小学校 体育館 【内容】 ・学校PTA行事に支援・協力した。</p> <p>(2) 「第11回園対抗かるた大会」の開催 【時期】 令和6年1月25日(木) 【場所】 宮崎市清武体育館 格技場 【内容】 ・清武かるたを使用して競技を行った。 ・園児代表による競技(各園2チーム)を行なった。</p> <p>(3) 安井息軒梅まつりの支援、協力 【時期】 令和6年2月11日(日) 【場所】 安井息軒記念館周辺 【内容】 安井息軒顕彰会主催事業に支援、協力した。 ・総合受付、駐車場案内係。 ・息軒かるた大会、かるた遊びの補助員。 ・模擬店コーナーで、うどん販売。</p>															
事業費	51,190円															
対象者	①清武小PTAレクリエーションかるた大会(清武小学校) ②清武社会福祉会管の7保育園児・その他の園児															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>103人</td> <td>—人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>37人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>140人</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※活動参加者の延べ人数</p>				年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	103人	—人	スタッフ	37人	32人	合計	140人	32人
年度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	103人	—人														
スタッフ	37人	32人														
合計	140人	32人														
住民の声(アンケートの結果等)	<p>各園のアンケート調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年ぶりの大会、とても楽しく参加しました。 ・園児も、職員も初めての参加にドキドキでした。 ・他園の子どもたちとの真剣勝負が、とても良い経験、思い出になりました。 ・年長児全員が参加できればよいです。 ・年長児全員の参加ではなかったが、全員分の参加賞をいただいた。 ・清武かるたのおかげで文字に興味を持ち始めた子もいるので就学に向けよい学びの機会となった。 ・会場が体育館で、すごく寒かったので、もう少し暖かい所でもよかったですのではないのでしょうか。 ・表彰式までの時間に手遊びうたで、体が冷えないよう、楽しめるようにと細やかな配慮とても温かく感じました。 															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各園への、アンケート調査からも、日頃から「かるた遊び」を行っており大会を楽しみにしていることがわかる。	広報	⑤事業の周知	B	B	各園への周知は的確にされているが、一般参加を高める工夫が必要である。	
	②住民の参加	B	B	園児対象のため参加者は限定されるが、保護者の見学応援も見られる。より多くの住民の参加もできるとよい。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	魅力発信プランの「伝統文化の継承、地域住民・世代間の交流の場づくり」という取組に合った事業であり、妥当である。		⑦住民の満足度			A	B
	④各種団体との連携	A	B	清武社会福祉会、安井息軒顕彰会と連携した。			事業継続の必要性		⑦・無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症等の影響で4年ぶりの開催となったが、みんな楽しんで参加していた。 現在、各園の代表者のみの参加で実施しているが、今後年長児全員が参加できる方向も考えていきたい。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>		<意見への対応>				対応		未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>		<意見への対応>				対応		未・済	

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	「清武かるた」普及事業	(文化健康部会)
-----	-------------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	51,190	
2	繰越金		
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	51,190	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	34,530	消耗品費(参加賞) 19,720 円 食糧費(お茶・お弁当) 14,810 円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	16,660	体育館使用料・送迎タクシー・バス代 16,660 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	51,190	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

[4] 伝統文化に係る事業

事業名	「清武町域三神社神楽舞」事業 (文化健康部会)		実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成25年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	3. えがおいっぱい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・ 伝統文化の継承 ・ 地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	今泉神社、中野神社、船引神社の三神社が一堂に会する「合同神楽舞」を通して、故郷に受け継がれている伝統文化を知り、郷土愛の醸成に役立てる。															
事業内容・手段	<p>(1) 「清武町域三神社神楽舞」事業</p> <p>【時期】 令和5年10月8日(日)</p> <p>【場所】 宮崎市清武文化会館 半九ホール</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今泉神社、中野神社、船引神社の三神社が一堂に会した神楽舞を実施した。 ・ 加納地域まちづくり協議会と共催で実施した。 ・ 三神社に大ポスターを掲示し、また会場周辺にのぼり旗を揚げ、神楽まつりを周知した。 ・ 青パト車にポスターを貼り、広報活動を行った。 ・ 小ホールにおいて、前回開催したDVD放映を行った。 															
事業費	140,014円															
対象者	清武・加納地域住民															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>250人</td> <td>—人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>50人</td> <td>—人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>300人</td> <td>—人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※活動参加者の延べ人数</p>				年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	250人	—人	スタッフ	50人	—人	合計	300人	—人
年度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	250人	—人														
スタッフ	50人	—人														
合計	300人	—人														
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ チラシ回覧等で知った。 ・ 知人の勧めで知った。 ・ 子どもたちの舞をみて今後も大人とともに継承していく人たちがいることをうれしく思った。 ・ 初めて見に来ました。大変良かった。 ・ 小ホールでの映写会は、案内がないので何をしているのか気づかなかったと思います。 ・ 大変よかった 今後も続けてほしい。 ・ It was fun and interesting. ・ 子どもたちの神楽すごく練習されたのでしょうか。大きな拍手を送りたいです。三神社それぞれ特徴があり楽しかったです。 ・ もう少し見に来られる方が多いといいですね。 ・ 各神社のかぐら面の提示が同時にあればよい。 ・ 少し暑かった。空調の調整をしてほしかった。 															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—	三神社が一堂に会して見られる機会になり、「初めて見た。また、見たい。」との声が多い。	広報	⑤事業の周知	A	—	チラシ、ポスターを自治会を通して回覧し、近隣の公共施設等に設置をお願いした。会場周辺に「神楽まつり」ののぼり旗をたて周知を図った。
	②住民の参加	A	—	子ども舞もあり、大人たちと一緒に伝統を継承していく姿に住民も期待をしている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	清武町に受け継がれる伝統文化を住民に知らせ、郷土愛の醸成に役立っている。まちづくり協議会の取組として妥当である。	事業の効果		⑦住民の満足度	A	—
	④各種団体との連携	A	—	今回は、加納まちづくり協議会が、中心となり実施した。各神社神楽保存会、清武文化会館と協議を進めた。		事業継続の必要性		④・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・今回も6演目にして、各神社の特徴ある伝統的な演目で、メリハリのある時間が持てた。 ・前回は、休憩時間に演奏していた雅楽演奏をプログラムに組み入れゆっくり聞いてもらうことができた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応		未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応		未・済

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	「清武町域三神社神楽舞」事業	(文化健康部会)
-----	----------------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	40,014	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	140,014	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	63,000	謝礼(舞手) 63,000 円
3	旅費		
4	需用費	77,014	消耗品費(トートバッグ代他) 29,096 円 印刷製本費(ポスター・チラシ) 17,358 円 食糧費(お茶・弁当他) 30,560 円
5	役員費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	140,014	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

[5] 地域教育に係る事業

事業名	「十九の丘」みかん育成体験事業（地域安全活性化部会）		実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成24年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	2. はらいっばい～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっばい～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地産地消の推進 ・食育 ・特産物のPR ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	果樹生産に携わる人々の苦労や勤労の大切さを知り、収穫の恵みに感謝するとともに、郷土の特産物を知ってもらうことを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「十九の丘」みかん育成体験の実施 【時期】 令和5年9月30日(土) 【場所】 清武町大久保 「十九の丘」みかん団地 【内容】 ・9月24日(日)みかん団地駐車場の草刈りを実施した。 ・園主が日向夏みかんの袋かけ、極早生みかんの状態を説明をした。 ・時間短縮のため、袋かけは、枚数を少なくした。 ・極早生みかんの収穫体験を行った。															
事業費	188,786円															
対象者	清武地域住民															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>270人</td> <td>262人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>36人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>306人</td> <td>295人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ				年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	270人	262人	スタッフ	36人	33人	合計	306人	295人
年度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	270人	262人														
スタッフ	36人	33人														
合計	306人	295人														
住民の声(アンケートの結果等)	(みかん狩りに参加した理由) ・みかん狩りをしてみたい。 ・みかんが好物だから。 ・楽しそうな内容だから。 ・家族や友達と何か楽しい行事を一緒にした。 (十九の丘は知っていますか) ・初めて知った。 ・土地名は知っている。 (その他の意見) ・来年もここにみかんがりに来たい。 ・袋かけがおもしろかった。 ・日向夏の袋かけもとお手伝いしてもよかったです。来年も参加したい。 ・親子で普段できない経験ができて楽しかったです。 ・今年からQRコードでの申し込みができるのが便利でしたが、ちゃんと受付ができたかわからなくて不安だった。 ・毎年このイベント楽しみにしています。来年もあるとうれしいです。 ・今年も子供と楽しめました。来年も参加したいです。 ・来る時に大久保小などの目印をアピールしてほしいです。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	参加者のアンケート調査により、毎年開催してほしいとの意見が多かった。	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシを自治会、保育園、幼稚園、各小中学校に配布し、近隣の公共施設等にも設置した。MR Tデジタルデータ放送にもアップしてもらった。
	②住民の参加	A	A	親子、孫との参加など家族連れで楽しんでいる姿が多くみられた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	継続して実施しており、地域の特性を活かした素晴らしい取り組みである。	⑦住民の満足度	A			A
	④各種団体との連携	A	A	地元農家の協力を得られている。また、清武中学校の生徒や交流センター利用者（地域貢献活動の一環でのボランティア）に協力いただいた。			事業継続の必要性		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・参加申し込みにGoogleフォームも活用したため、参加者から大変喜ばれた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応		未・済		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応		未・済		

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	「十九の丘」みかん育成体験事業	(地域安全活性化部会)
-----	-----------------	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	80,486	
2	繰越金	30,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金	78,300	参加料(@300円×261人)
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	188,786	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	15,000	指導員謝金・救護看護師 15,000 円
3	旅費		
4	需用費	40,306	消耗品費(カラー用紙他) 14,868 円 燃料費(混合油代) 2,076 円 食糧費(お茶・お弁当代他) 23,362 円
5	役務費	11,880	レクレーション保険料 (230人延べ人数) 11,880 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	121,600	みかん畑借上げ料・軽トラ・草刈り機使用料 121,600 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	188,786	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	清武地域まちづくり協議会だより発行事業（広報部会）	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	1. はないっぱい～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっぱい～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～														
目的 (期待される効果)	まちづくり協議会の組織・活動を周知し、まちづくり事業への参加を促すことを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 広報紙「清武地域まちづくり協議会だより」の発行 【時期】 3回/年度内（7月・12月・3月） 【部数】 A3両面カラー印刷 7,000部（2回）・6,700部（1回） 【内容】 ・事業案内、事業活動報告などそのほか地域の情報も取り入れて紙面づくりを行った。 【配付方法】 ・自治会加入世帯は、自治会を通じて全戸配付した。 ・自治会未加入者世帯については、新聞折込などで周知を図った。 ・清武総合支所や学校、銀行、公共機関等に配布をお願いした。 ・近隣のまちづくり協議会推進委員会にも送付した。お互いの取組みを知る機会につながっている。														
事業費	181,627円														
対象者	清武地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>— 人</td> <td>— 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17 人</td> <td>10 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17 人</td> <td>10 人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	— 人	— 人	スタッフ	17 人	10 人	合計	17 人	10 人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	— 人	— 人													
スタッフ	17 人	10 人													
合計	17 人	10 人													
住民の声（アンケートの結果等）	・特にアンケートは行っていないが、写真も多く読みやすいとの声が聞かれた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	事業の事前告知や報告を掲載することで、まちづくり協議会の活動がわかるとの声があった。	広報	⑤事業の周知	A	A	まちづくりの各事業案内や活動報告をすることで、活動を知ってもらうきっかけ、PRにつながった。
	②住民の参加	A	B	地域にある宮崎学園短期大学や国際大学の学生も広報紙作成に積極的に参加した。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり協議会自らの事業等について広報する取組であり、妥当である。	事業の必要性		⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	A	A	自治会を通して、配付、各公共施設等にも設置し協力をいただいた。近隣のまちづくり推進委員会等にも送付した。		事業継続の必要性	④ 無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生に呼びかけボランティアとして、協力、活動してもらった。紙面づくりに若い世代の意見を取り入れ交流を深めることにつながった。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	清武地域まちづくり協議会だより発行事業	(広報部会)
-----	---------------------	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	81,627	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	181,627	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	128,464	消耗品費 (インク・USBメモリ) 14,634 円 印刷製本費 (3回) 113,830 円
5	役務費	53,163	新聞折込料3回分(宮日 3,300部・読売 420部・朝日200部) 53,163 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	181,627	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	まちづくり協議会管理運営事業 (事務局)	実施年数	14年目															
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし																
地域魅力発信プランとの関連	1. はないっぱい～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2. はらいっぱい～お腹も心も満たされるまちへ～ 3. えがおいっぱい～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～																	
目的 (期待される効果)	住民が主体のまちづくりに取り組み、まちづくり協議会の更なる発展につなげることを目的とする。																	
事業内容・手段	(1) 事務局備品の整備と管理及び円滑な事務局運営の実施 【時期】 令和5年4月1日～令和6年3月31日 【場所】 清武地区交流センター内 事務局 【内容】 ・運営委員会、各部会等の事務連絡や日程調整を図った。 ・備品整備を行い事務作業の効率化を図った。 ・青パトの巡回スケジュール計画、日程調整等を図った。 (2) 清武SOKKENマラソンリレー大会への参加 【時期】 令和6年1月14日(日) 【場所】 ・清武総合運動公園内 (3) リーダー育成研修の実施(平成27年度～9年目) 【時期】 令和5年7月21日(金)～22日(土) 【場所】 大分県宇佐市安心院町 津房地区まちづくり協議会 【内容】 ・県外視察研修を行った。 ・若い世代、人材が地域おこし隊として活躍されている。 ・自主財源の運用 (4) 桜植栽管理事業(平成31年度・令和元年度～5年目) 【時期】 令和5年7月13日(木)、令和6年1月26日(金) 【場所】 荒平山森林公園の一部 【内容】 ・桜植栽場所の草刈りを行った。																	
事業費	1,058,152円																	
対象者	清武地域住民																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4部会</td> <td>176人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>役員会</td> <td>157人</td> <td>109人</td> </tr> <tr> <td>定期総会</td> <td>95人</td> <td>97人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>428人</td> <td>288人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	4部会	176人	82人	役員会	157人	109人	定期総会	95人	97人	合計	428人	288人
年度	令和5年度	令和4年度																
4部会	176人	82人																
役員会	157人	109人																
定期総会	95人	97人																
合計	428人	288人																
住民の声(アンケートの結果等)	(リーダー研修の感想、意見として) ・行政と住民が協働でまちづくりを目指し、住民の夢や希望、地域の課題やニーズを洗い出して長期計画を作成しており、大いに参考になった。 ・高齢者へのサポート、小学校との連携・支援に活躍されていた。 ・自主財源を確保し、地域住民のため運用されていた。 ・個々のグループや個人単位の活動から地区ぐるみの活動へと変わってきていた。 ・活動参加者の裾野の広がり、継承者の育成等の課題もある。 ・会員が楽しく、夢を持てるようなまちづくりの取組が必要と感じた。																	

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	円滑な事業運営を行うために必要な事業であり、地域住民と一緒に考え、取り組む必要がある。	広報	⑤事業の周知	A	A	各事業の活動をまちだよりやフェイスブック、公式LINEアカウントなども利用した。MR Tデジタルデータ放送に事業内容をアップしていただいた。
	②住民の参加	B	B	事業への参加は増加しているが、まちづくり協議会に対する認知度は、まだまだ低い。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	効率的な事務局運営、円滑な事業運営のため、まちづくり協議会の取組として妥当である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	B	自治会、各団体等連携を図りながら進められた。清武中学校や宮崎大学の学生もボランティアに参加した。	事業継続の必要性		⑦有 ・ 無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりと自治会長会との会議を初めて実施した。意見は少なかったが、理解を深める機会となった。 ・現在地に移転して3年目となる。地域の実情に即した取組となるよう更に情報収集に更に取り組んでいきたい。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>				対応		未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>				対応		未・済	

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	まちづくり協議会管理運営事業	(事務局)
-----	----------------	-------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	554,091	
2	繰越金	504,042	
3	自己資金	19	銀行利息(8月 10円、2月 9円)
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	手持ち金	0	
8	合計(A)	1,058,152	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金	8,100	賃金(事務引継ぎ) 8,100円
2	報償費		
3	旅費	176,700	旅費・日当(@15,300×9名)) 137,700円 費用弁償(13名分) 39,000円
4	需用費	242,318	消耗品費(コピー用紙・事務用品他) 201,170円 食糧費(お茶代他) 41,148円
5	役務費	274,430	通信運搬費(電話・インターネット・切手他) 225,140円 振込手数料 4,840円 保険料(ボランティア保険) 44,450円
6	委託料	96,000	桜植栽管理費用 96,000円
7	使用料及び賃借料	260,604	コピー機リース料・バス借上げ用 260,604円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	0	
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	1,058,152	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

事業名	银杏フェスティバル事業 (事務局)	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3. えがおいっぱい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地域住民・世代間の交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	まちづくりの拠点である清武地区交流センターや、まちづくり協議会の認知度を向上させ、住民のまちづくりへの参画や交流センターの利用につなげることを目的とする。														
事業内容・手段	<p>(1) 银杏ライトアップの実施 【時期】 令和5年10月21日(土)～11月23日(木) 【場所】 清武地区交流センター 広場 【内容】 ・点灯式を行わずライトアップを実施した。 ・紅葉時期に银杏のライトアップを実施した。 ・電気は、清武総合支所に相談のうえ、交流センターの電気を使用させてもらった。</p> <p>(2) 银杏フェスティバルイベント「清武地区ふれあい文化祭」 【時期】 令和5年11月3日(金・祝日) 【場所】 清武地区交流センター 和室・広場 【内容】 ・「清武かるた遊び」を実施した。 ・「健康・福祉講演会」を屋外ステージを使って実施した。 ・屋外ステージを設置して、ステージ発表や福祉講演等を実施した。</p>														
事業費	609,341円														
対象者	清武地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>462人</td> <td>100人以上</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>92人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>554人</td> <td>148人以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女や年代別データ ※人数は延べ人数</p>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	462人	100人以上	スタッフ	92人	48人	合計	554人	148人以上
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	462人	100人以上													
スタッフ	92人	48人													
合計	554人	148人以上													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場のスペースが少なく指定の場所は遠すぎた。 ・子どもたちが少なかった。子どもに受けるイベントを。 ・ステージ各席の椅子の配置の工夫が必要。 ・小学生、中、高、幼稚園生の出演プログラム等があればと思う。 ・大人から子どもまで遊べるレクレーションゲーム等があればと思う。 ・自治会への文化祭アピールが不足している。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	銀杏を見て昔を懐かしむ声が聞かれた。清武地区地域センターの地区住民の利用者が比較的少ないことから実施へのニーズが高い。	広報	⑤事業の周知	B	B	チラシを作成し、自治会、学校を通して配布した。近隣の公共施設、保育園等にも設置のお願いを行ったが、広報をもっと早くする必要があった。
	②住民の参加	B	B	「清武地区ふれあい文化祭」として交流センターと合同で実施したため住民の参加も多々みられた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	B	交流センターの認知度を高めることは、まちづくり協議会の繁栄につながることから、まちづくり協議会の取組として妥当である。		⑦住民の満足度			B
	④各種団体との連携	B	B	自治会、清武地区交流センター、行政、清武中学校と連携した。			事業継続の必要性		○有 ・ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外ステージを利用した発表や福祉講演会を盛り込んで実施できて参加者に楽しんでもらった。 ・本年度は、清武地区生涯学習推進協議会との共同開催による「清武地区ふれあい文化祭」として昨年度までの銀杏フェスティバルの内容を大きく変更して実施できたことは大きな成果であった。しかし、駐車場の問題や運営のあり方等の改善の余地がみられた。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p>						対応	未・済
		<p><意見への対応></p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p>						対応	未・済
		<p><意見への対応></p>							

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	银杏フェスティバル事業	(事務局)
-----	-------------	-------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	466,759	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金	25,000	音響設備(清武地区交流センターとの折半)
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	雑収入	17,582	飲み物売上として
9	合計(A)	609,341	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	10,000	出演料 10,000 円
3	旅費		
4	需用費	162,141	消耗品費(カラー用紙他) 28,255 円 食糧費(お茶・お弁当・景品他) 119,396 円 印刷製本費(ふれあい文化祭ポスター・チラシ) 14,490 円
5	役務費	2,450	傷害保険料 2,450 円
6	委託料	409,750	ステージ・音響設備他 409,750 円
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費	25,000	银杏ライトアップ一式 25,000 円
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	609,341	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和6年 5月29日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市清武町今泉甲2694番地3
名 称 清武地域まちづくり協議会
代表者の氏名 会長 中山 和郎
電話番号 0985-84-5200

令和5年6月7日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、決算において、1,058,628円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添付書類

令和5年度収支決算(見込)書

(様式第8号)

令和6年5月29日

令和5年度 清武地域まちづくり協議会への意見書 [事業実施報告]

清武地域自治区地域協議会
会長 野田 三津枝

令和5年度の清武地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていまして、承認いたします。

記

1 総括

地域住民の生活意識向上のため、地域にあったまちづくり活動を実施されている。

なお、地域住民がより一層まちづくりに参画されるよう、今後も事業の周知方法等について検討をお願いしたい。

2 事業の推進体制

特になし。

3 各事業への意見 (意見のある事業のみ記載)

事業名	意見
	特になし。

4 その他

特になし。